

シグマ研究委員会核データ専門部会
ガンマ線生成核データW.G. 第5回会合議事録

日 時 昭和56年8月24日(月) 13:30~17:30
場 所 原研本部 第6会議室
出席者 浅見(哲), 水本, 五十嵐(原研), 川合(NAIG)
井頭, 播磨, 北沢(東工大)

配布資料

- 1) $A\ell$ に対する ENDF/B-IV のデータの検討(播磨)
- 2) ^{235}U , ^{238}U の Fission gamma-ray spectrum の測定値(川合)
- 3) computer code CAPTR 1 を用いて計算された
 $^{96}\text{Mo}(n, \gamma)$ の direct および semi-direct component
(水本)

I. 一般報告

- 1) Σ 委核データ研究会を 11/26-27 に行なう。
- 2) BNL の Perlstein が原研を訪問。ENDF/B-V のデータを公開しないというのは DOE の意向であると説明。France が Fenix 等のデータを公開しないのが原因らしい。
- 3) 1981 年版 progress report を作製する。
- 4) JENDL-III 作製の予算が今年度からついた。
- 5) 原研核データ・センターの中川氏が約2年の予定で NEA Data Bank へ出張する。

II. 作業経過報告

- 1) Na に対する ENDF/B-IV のデータ評価方法を検討している。

GNASH の Te を ELIESE-III で読めるように改良している。

BNLでは、GNASH, Howerton, TNG を随意に用いている。(山越氏からコメント)

- 2) Verbinski et al., Peelle et al., Bendt et al. の熱中性子に対する ^{235}U の fission gamma-ray spectrum を紹介し、ENDF/B-IV のデータと比較した。(川合)
- 3) ENDF/B-IV の $A\ell(n, n')$ のデータの中に (n, np) の過程が含まれているので注意が必要。(播磨)
- 4) $^{96}\text{Mo}(n, \gamma)$ の direct および semi-direct component を CAPTR 1 を用いて計算した。(水本)

1st. step のガンマ線生成断面積評価の中には DSD 過程を含めないことにし、2nd. step で改めて検討する。播磨氏が高エネルギー・ガンマ線の輸送計算によって DSD 過程で放出される高エネルギー・ガンマ線の効果を検討することにした。

次回 10 月 9 日原研本部で行なう。